

未来につなぐ 笑顔かがやく

元気まち上士幌



上士幌町は、十勝平野の北部にあり、日本最大の国立公園である大雪山国立公園の東山麓に位置する豊かな自然に恵まれた、畑作、酪農、林業を基幹産業としたまちです。昭和6年に士幌村から分村し、昨年、開町90周年を迎えました。

地方創生では、早くから人口減少問題に取り組み、様々な分野でまちの魅力を高めた結果、移住者等が増加したことにより人口減少に歯止めがかかり、人口約5千人を維持しています。

また、畜産バイオマスを核とした再生可能エネルギーの地産地消や、ドローンなどの新技術、豊富な食料生産、人口増加が評価され、2020(令和2)年には第4回ジャパンSDGsアワード「内閣官房長官賞」を受賞し、2021(令和3)年度にはSDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業に選定されています。地球温暖化に対しても国内外の動きに呼応し、2050年、二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して「北海道上士幌町ゼロカーボンシティ」を宣言したところです。これらの成果を継続させ深化させていくことが、まちの魅力と価値を高め、持続可能なまちづくりにつながっていくものと考えております。

一方で、新型コロナウイルス感染症のまん延、産業構造の変化、全国的な人口減少など、私たちの社会はこれまでにない大きな変化にさらされ、先行きが不透明な時代を迎えています。これらの社会の変化に対応しながら、本町が進むべき羅針盤として第6期総合計画を策定しました。

本計画は、まちづくり将来像を「未来につなぐ 笑顔かがやく 元気まち上士幌」として、この美しいまちを10年後の開町100周年に向けて、町民や関係者の皆様とともにまちづくりを進めてまいります。

最後に、第6期総合計画の策定にあたり、「上士幌町総合計画策定審議会」委員の皆様をはじめ、「まちづくり委員会」委員の皆様、またアンケートや懇談会などで貴重なご意見・ご提言をいただきました町民の皆様にご心よりお礼申し上げます。

2022(令和4)年3月

上士幌町長 竹中 貢